

## 研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19157
課題名	旭川医科大学病院における輸血関連インシデントの解析
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2021年 7月 31日
研究の対象	2015年1月～2019年10月に院内医療安全管理システムに輸血関連インシデントを登録された方、 2015年1月～2019年10月に当院にて輸血を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報 (詳細： ) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： ) <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (インシデントレポート ) 2015年1月～2019年10月に院内の医療安全管理システム SafeMaster に登録されたインシデントレポートから、輸血に関連する報告を対象とします。 調査項目：発生状況、発生場面、発生場所、発生時刻 (日勤帯、夜勤帯)、当事者職種、経験年数、インシデントの影響度など
研究の意義、目的	インシデントレポートは医療事故発生防止の重要な情報源です。インシデントレポートは、事故の原因となった、あるいは事故に繋がりにくい問題を情報共有することで、同様な事故の発生を防ぐことが可能となります。この研究では、当院の輸血関連インシデントを解析し、インシデント発生場面や輸血療法の問題点などの傾向を把握し、安全な輸血療法のための教育やシステム改善に役立てることを目的とします。
研究の方法	院内の医療安全管理システム SafeMaster を使用して、報告されたインシデントレポートの中から輸血に関連するインシデントの件数および報告内容の解析を行います。報告内容から、発生状況、発生場面、発生場所、発生時刻、当事者職種、経験年数、インシデントの影響度について調べます。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には、研究対象としないので下記の連絡先までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：          住 所：旭川市緑が丘東2条1丁目1-1          旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部          研究責任者：藤井 聡 (0166-69-3380)          研究分担者：大塚浩平 (0166-69-3381)</p>